

【科目名】	医学概論	専門基礎分野(1単位)	【講師名】	吉田 望 (理学療法士): 医療機関にて27年実務経験			
【講義期間】	3年次後期		【対象学生】	第3学年 理学療法学科			
【時間数】	15時間 (2時間 8回)		【時間帯】	9:00 ~ 10:30 (他時間割参照)			
授業内容・目標	健康、疾病及び障害について、その予防と発症・治療、回復過程に関する知識を習得し、理解力、観察力、判断力を養うとともに、高度化する医療ニーズに対応するため栄養学、画像診断学、救急救命医学等の基礎を学ぶ。						
前提知識	専門基礎分野における「解剖学」「生理学」から学ぶ人体の構造と機能の基礎知識 消化・吸収を含む人体の運動生理学の基礎知識						
【実施形態】	講義(○)		演習()		実習()		
到達目標	栄養、医用画像、救急救命及び予防の基礎の習得						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期		科目終了時				
	補足						
	関心・意欲		○				
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
実践・表現		○					

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
	1	栄養学の基礎①	三大栄養素 エネルギー	吉田
	2	栄養学の基礎②	リハビリテーションに必要な栄養学	吉田
	3	救急救命の基礎①	意識状態(JCS、GCS)、バイタルサイン(血圧、脈拍、呼吸数) 心肺蘇生法、BLS(一次救命処置)、AED、回復体位	吉田
	4	救急救命の基礎②	意識状態(JCS、GCS)、バイタルサイン(血圧、脈拍、呼吸数) 心肺蘇生法、BLS(一次救命処置)、AED、回復体位	吉田
	5	画像の見方①	単純X線、CT、MRI 各臓器・骨格の名称と構造	吉田
	6	画像の見方②		吉田
	7	画像の見方と診断①	整形外科疾患、中枢神経疾患、内部疾患等の各疾患の基礎と特徴	吉田
	8	画像の見方と診断②		吉田
	9	まとめと評価		科目担当
教科書 参考書	PT・OTのための画像診断マニュアル 標準理学療法学・作業療法学 解剖学第5版 標準理学療法学・作業療法学 生理学第5版			
授業に必要な物	PC、プロジェクター、全身骨格の模型、臓器の模型			
備考				

【科目名】	理学療法各論Ⅵ(発達障害)	専門分野(1単位)	【講師名】	渡辺似望(理学療法士):医療機関にて15年実務経験			
【講義期間】	3年次前期		【対象学生】	第3学年 理学療法学科			
【時間数】	30時間 (2時間15回)		【時間帯】	9:00 ~ 10:30 (他時間割参照)			
授業内容・目標	正常運動発達と小児疾患に対する理解と国家試験対策						
前提知識	デンバー式発達スクリーニング検査および遠城寺式発達検査について発達障害を理解する病理的知識について						
【実施形態】	講義() 演習(○) 実習()						
到達目標	国家試験に必要な知識を身に付ける						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲		○				
	知識・理解		○				
	思考・推論		○				
実践・表現		○					

授業計画

日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
4月1日	1	原始反射・姿勢反射	反射中枢、出現時期、反射の形式	渡辺
4月1日	2	正常運動発達と評価	新生児期からの発達	渡辺
4月2日	3	正常運動発達の国家試験問題	デンバー式発達検査、遠城寺式発達検査、国家試験過去問題	渡辺
4月2日	4	脳性麻痺総論	脳性麻痺総論	渡辺
4月3日	5	脳性麻痺痙直型・アトニー型	病態、原因、進行、理学療法	渡辺
4月3日	6	脳性麻痺の国家試験問題	国家試験過去問	渡辺
4月4日	7	ダウン症・二分脊椎等・その他小児疾患	病態、原因、進行、理学療法	渡辺
4月4日	8	筋ジストロフィー	デシェンヌ型、支帯型、筋強直型	渡辺
4月8日	9	国家試験対策①	心疾患について①	熊谷
4月8日	10	国家試験対策②	心疾患について②	熊谷
4月9日	11	国家試験対策③	呼吸器疾患について①	熊谷
4月9日	12	国家試験対策④	呼吸器疾患について②	東海林
4月10日	13	国家試験対策⑤	内部障害について①	東海林
4月10日	14	国家試験対策⑥	内部障害について②	東海林
4月11日	15	国家試験対策⑦	内部障害について③	東海林
		まとめと評価		
PT・OT国家試験 必修ポイント 専門基礎分野 基礎医学 医歯薬出版株式会社				
授業に必要な物				
備考				

【科目名】	理学療法 各論Ⅷ(疾患別)	専門分野 (2単位)	【講師名】	熊谷 拓未(理学療法士):医療機関にて8年実務経験 東海林 智也(理学療法士):介護・教育機関等にて17年勤務			
【講義期間】	3年次前期		【対象学生】	第3学年 理学療法学科			
【時間数】	45時間 (2時間 23回)		【時間帯】	9:00 ~ 17:00 (他時間割参照)			
授業内容・目標	国家試験出題基準(人体の構造と機能及び心身の発達)を確認し、同範囲に対してグループ学習を中心に学習するスタイルを身に付ける。解答・解説だけでなく、教科書を中心とした知識をグループ内でアウトプットしながら共有し進めていく方法を身に付ける。						
前提知識	1年次の3科目(解剖学、生理学、運動学)の基礎分野						
【実施形態】	講義(○) 演習(○) 実習()						
到達目標	人体の構造と機能及び心身の発達分野(3科目)を理解し、疾患や病態運動を理解するために用いることができる。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		○				
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○					
	知識・理解	○					
	思考・推論	○					
実践・表現	○						

授業計画					
	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師	
	4月1日	1	骨	骨の構造と分類、骨吸収と形成	熊谷
	4月1日	2	関節	関節の構造と分類	熊谷
	4月2日	3	靭帯	各部の骨、関節、靭帯	熊谷
	4月2日	4	筋	筋の構造と形態、各部の筋・腱	熊谷
	4月3日	5	筋	筋線維の構造と機能	熊谷
	4月3日	6	筋	筋収縮、神経-筋接合部の伝達	熊谷
	4月4日	7	上肢の運動学	上肢帯と上肢の運動(肩関節の運動、手部の筋・腱・靭帯)	熊谷
	4月4日	8	上肢の運動学		熊谷
	4月8日	9	下肢の運動学	下肢帯と下肢の運動(股関節、膝関節、足関節)	熊谷
	4月8日	10	下肢の運動学		熊谷
	4月9日	11	体幹と顔面	体幹の運動	熊谷
	4月9日	12	体幹と顔面	顔面、頭頸部の運動	熊谷
	4月10日	13	歩行	歩行周期、重心移動、歩行時の活動筋、異常歩行	熊谷
	4月10日	14	運動学習	結果の知識(KR)、運動技能、パフォーマンスの知識	熊谷
	4月11日	15	神経	中枢神経系、末梢神経	東海林
	4月11日	16	神経	神経線維の構造、興奮と伝導、シナプス伝達、反射、など	東海林
	4月12日	17	感覚と受容器	視覚器、平衡聴覚器、皮膚受容器	東海林
	4月12日	18	感覚と受容器	受容器-感覚神経伝達	東海林
	4月15日	19	循環系	心臓、動脈系、静脈系、リンパ系	東海林
	4月15日	20	循環系	循環の調節(血液とリンパの循環)、心筋の特性、心臓拍動の自動性など	東海林
	4月16日	21	呼吸系	呼吸器	東海林
	4月16日	22	呼吸系	呼吸運動(気道内圧、肺の容積変化を含む)、ガス交換とガスの運搬など	東海林
	4月17日	23	消化と吸収	消化器	東海林
	4月17日	補	消化と吸収	唾液分泌の機序、咀嚼・嚥下運動と嚥下反射中枢、胃内消化(胃液分泌など)	東海林
	4月18日	補	泌尿器と生殖器	泌尿器、生殖器	東海林
	4月18日	補	泌尿器と生殖器	尿の性状、糸球体・尿管の機能、排尿機構(排尿中枢を含む)排卵、月経など	東海林
	4月22日	補	ホルモン	内分泌腺	東海林
	4月22日	補	発生と組織	細胞の構造と機能、細胞の分化(遺伝子、DNA等)、老化、死	東海林
			まとめと評価		科目担当
教科書 参考書	国家試験などの過去問題集、国試の達人(運動解剖生理学編)、その他必要な教科書				
授業に必要な物					
備考	教員とコミュニケーションを取りながら各疾患についての理解を深めていくよう行動すること。				

【科目名】	理学療法 各論区(症例検討)	専門分野 (1単位)	【講師名】	東海林 智也(理学療法士):介護・教育機関等にて17年勤務 熊谷 拓未(理学療法士):医療機関にて8年実務経験			
【講義期間】	3年次前期		【対象学生】	第3学年 理学療法学科			
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】	9:00~12:10(時間割参照)			
授業内容・目標	各教員がケースバイザーになり、学生個人個人に指導を促し、理学療法の一連の流れを理解する。						
前提知識	1年時~2年時終了までの知識や疾患の捉え方など総合的な知識、思考が求められる。						
【実施形態】	講義()	演習(○)	実習()				
到達目標	理学療法の一連の流れについて理解を深める。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)			100%			
	実施時期			15回目			
	補足						
	関心・意欲	○				○	
	知識・理解	○			○	○	
	思考・推論	○			○	○	
実践・表現	○			○	○		
授業計画							
	回数	テーマ	講義内容・キーワード			講師	
4月11日	1	症例に対する理学療法について(PBL)①	初期評価 (動作観察、統合と解釈、問題点抽出、目標設定、治療プログラム、考察)			東海林	
4月12日	2	症例に対する理学療法について(PBL)②	初期評価 (動作観察、統合と解釈、問題点抽出、目標設定、治療プログラム、考察)			東海林	
4月12日	3	症例に対する理学療法について(PBL)③	治療実施(治療結果の判断解釈)			東海林	
4月15日	4	症例に対する理学療法について(PBL)④	治療実施(治療結果の判断解釈)			東海林	
4月15日	5	症例に対する理学療法について(PBL)⑤	治療実施(治療結果の判断解釈)			東海林	
4月16日	6	症例に対する理学療法について(PBL)⑥	治療実施(治療結果の判断解釈)			東海林	
4月16日	7	症例に対する理学療法について(PBL)⑦	最終評価結果の配布(動作観察の判断解釈)			東海林	
4月17日	8	症例に対する理学療法について(PBL)⑧	最終評価結果の配布(動作観察の判断解釈)			東海林	
4月17日	9	症例に対する理学療法について(PBL)⑨	最終評価結果の配布(判断解釈)			熊谷	
4月18日	10	症例に対する理学療法について(PBL)⑩	最終評価結果の配布(判断解釈)			熊谷	
4月18日	11	症例に対する理学療法について(PBL)⑪	最終評価結果の配布(判断解釈)			熊谷	
4月19日	12	症例に対する理学療法について(PBL)⑫	最終評価結果の配布(判断解釈)			熊谷	
4月19日	13	症例に対する理学療法について(PBL)⑬	統合と解釈(レポート作成)			熊谷	
4月22日	14	症例に対する理学療法について(PBL)⑭	考察(レポート作成)			熊谷	
4月22日	15	症例に対する理学療法について(PBL)⑮	考察(レポート作成)			熊谷	
		まとめと評価(実技試験含む)				科目担当	
教科書 参考書	各疾患についての文献、教科書						
授業に必要な物	パソコン						
備考	教員とコミュニケーションを取りながら症例検討を進めていく。						

【科目名】	理学療法管理学	専門分野(2単位)	【講師名】	熊谷 拓未(理学療法士):医療機関にて8年実務経験			
【講義期間】	3年次後期		【対象学生】	第3学年 理学療法学科			
【時間数】	30時間 (2時間 15 回)		【時間帯】	(他時間割参照)			
授業内容・目標	医療保険制度、介護保険制度を理解し、職場管理、理学療法教育に必要な能力を培うとともに、職業倫理を高める態度を養う。						
前提知識	理学療法概論で学んだ理学療法としての適性について理解していること。 医療保険制度、介護保険制度の基礎を理解していること。						
【実施形態】	講義(○)	演習()	実習()				
到達目標							
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)				50%	50%	
	実施時期				全ての授業終了後	随時	
	補足				レポート課題	態度と内容	
	関心・意欲					○	
	知識・理解				○		
	思考・推論				○	○	
実践・表現				○	○		

授業計画				
日付	回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
	1	管理者に必要な能力	管理能力	熊谷
	2	管理者に必要な能力	管理能力	熊谷
	3	人を管理するとは	人の評価	熊谷
	4	人を管理するとは	人の評価	熊谷
	5	理学療法士の未来像	職能団体としての責務	熊谷
	6	病院や職場を評価するとは	自分を評価・管理する	熊谷
	7	病院や職場を評価するとは	SWOT分析、管理手法、OJT、Off-JT、マネジメントとは	熊谷
	8	病院や職場を評価するとは	EBMとNBM	熊谷
	9	感染予防	標準予防策(スタンダードプリコーション)、感染対策委員会	熊谷
	10	感染予防	手洗いの仕方	熊谷
	11	リスクマネジメント	インシデント、ひやりはっと	熊谷
	12	リスクマネジメント	医療安全管理委員会	熊谷
	13	記録の管理・診療報酬の管理	SOAP、診療報酬、介護報酬	熊谷
	14	教育管理	クリニカルラダー	熊谷
	15	教育管理	プレゼンテーション能力	熊谷
		まとめと評価		熊谷
教科書 参考書				
授業に必要な物				
備考				

【科目名】	総合理学療法学	専門分野 (2単位)	【講師名】	木幡博人(理学療法士):医療機関にて19年実務経験 東海林 智也(理学療法士):介護・教育機関等にて17年勤務 熊谷 拓未(理学療法士):医療機関にて8年実務経験			
【講義期間】	3年次後期		【対象学生】	第3学年 理学療法学科			
【時間数】	30時間 (2時間 15回)		【時間帯】	9:00 ~ 12:10 (他時間割参照)			
授業内容・目標	実習を通し、経験・学んだ症例を通して、1年次から3年次まで学習した知識の総復習を行う。また、同時に再度症例に対して考察・実施内容の再検討を行う事で、知識の定着を図り、今後の臨床に繋げられるよう学習する。						
前提知識	1年次から3年次までの基礎分野、専門基礎分野、専門分野の知識						
【実施形態】	講義(○)	演習()	実習()				
到達目標	各分野についての知識の定着 各疾患における知識の応用能力の習得						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)		100				
	実施時期	平時	当科目終了時			当科目内	
	補足	質疑応答など	障害像など				
	関心・意欲	○	○			○	
	知識・理解		○			○	
	思考・推論		○			○	
実践・表現					○		

授業計画			
回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
1	理学療法と研究①	症例に対する一般・社会的・医学的情報の整理と解釈 理学療法評価からの解釈・統合と妥当性の検討 理学療法評価からの治療選択と妥当性の検討 治療実践における経過からの解釈と妥当性の検討 介入開始から終了までを通した、症例における解釈と考察 介入終了後における予後・生活面を含めた解釈と考察	熊谷
2	理学療法と研究②		熊谷
3	理学療法と研究③		熊谷
4	研究と解釈①		熊谷
5	研究と解釈②		熊谷
6	研究と解釈③		木幡
7	理学療法研究の展開①		木幡
8	理学療法研究の展開②		木幡
9	理学療法研究の展開③		木幡
10	理学療法における知識の整理:基礎知識①	症例を通じて学んだ基礎知識、専門知識	東海林
11	理学療法における知識の整理:基礎知識②	理学療法を行う上で必要な知識全般	東海林
12	理学療法における知識の整理:基礎知識③	(解剖学・生理学・運動学 他)	東海林
13	理学療法における知識の整理:専門知識①	症例を通じて学んだ基礎知識、専門知識	東海林
14	理学療法における知識の整理:専門知識②	理学療法を行う上で必要な知識全般	東海林
15	理学療法における知識の整理:専門知識③	(整形外科疾患・中枢神経疾患・内部障害 他)	木幡
	まとめと評価		科目担当
教科書 参考書	1年次から3年次までに使用した教科書と参考書		
授業に必要な物			
備考	ディスカッションは積極的に参加する事。また授業外で知識の復習を積極的に行う事。		

【科目名】	臨床実習Ⅱ－①	専門分野（10単位）	【講師名】	実習調整：高村 真司(理学療法士)：医療機関にて16年実務経験 木幡 博人(理学療法士)：医療機関にて20年実務経験			
【講義期間】	3年次前期		【対象学生】	第3学年 理学療法学科			
【時間数】	360時間		【時間帯】	9：00～17：00(他時間割参照)			
授業内容・目標	指導者の元、理学療法の対象者に対して、基本的理学療法を体験し実践する。また保健・医療・福祉の各分野の職場における理学療法士の役割と責任について理解し、その一員として自覚を持った行動を身に付ける。自己の理学療法士としての自覚を高めることが出来るよう、各施設の臨床現場で実習を実施する。						
前提知識	1年次から3年次までに修得した基礎分野、専門基礎分野、専門分野の知識全般。 1年次から3年次までに修得した理学療法評価法及び治療法の知識・技術全般 1年次から3年次までに修得したコミュニケーション能力、ルール、自発的行動等の社会性や実習生としての態度全般						
【実施形態】	講義() 演習() 実習(○)						
到達目標	職場における理学療法士の役割と責任について理解し、その一員として自覚を持つ。 1年次、2年次を通じての内容をさらに深め、基本的理学療法をある程度の助言・指導のもと行えるレベルになる。 保健・医療・福祉にかかわる専門職としての認識を高める。						
成績評価基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	臨床実習 総合評価報告書 総合評価に基づく。					
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○				○	
	知識・理解	○				○	
思考・推論	○				○		
実践・表現	○				○		

授業計画			
回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
1	実習前評価 臨床実習Ⅱ－① 5/20～7/19		
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
実習後評価			
教科書 参考書	1年次から3年次まで使用した教科書・参考書類 その都度必要な文献・論文類		
授業に必要な物			
備考			

【科目名】	臨床実習Ⅱ-②	専門分野 (10単位)	【講師名】	実習調整 :高村 真司(理学療法士):医療機関にて17年実務経験 木幡 博人(理学療法士):医療機関にて19年実務経験			
【講義期間】	3年次前期		【対象学生】	第3学年 理学療法学科			
【時間数】	360時間		【時間帯】	9:00 ~ 17:00(他時間割参照)			
授業内容・目標	指導者の元、理学療法の対象者に対して、基本的理学療法を体験し実践する。また保健・医療・福祉の各分野の職場における理学療法士の役割と責任について理解し、その一員として自覚を持った行動を身に付ける。自己の理学療法士としての自覚を高めることが出来るよう、各施設の臨床現場で実習を実施する。						
前提知識	1年次から3年次までに修得した基礎分野、専門基礎分野、専門分野の知識全般。 1年次から3年次までに修得した理学療法評価法及び治療法の知識・技術全般 1年次から3年次までに修得したコミュニケーション能力、ルール、自発的行動等の社会性や実習生としての態度全般						
【実施形態】	講義()		演習()		実習(○)		
到達目標	職場における理学療法士の役割と責任について理解し、その一員として自覚を持つ。 1年次、2年次を通じての内容をさらに深め、基本的理学療法をある程度の助言・指導のもと行えるレベルになる。 保健・医療・福祉にかかわる専門職としての認識を高める。						
成績評価 基準と方法		意欲・態度	筆記試験	実技試験	課題提出	発表・ディスカッション	その他(確認試験)
	配分(%)	臨床実習 総合評価報告書 総合評価に基づく。					
	実施時期						
	補足						
	関心・意欲	○			○	○	
	知識・理解	○			○	○	
	思考・推論	○			○	○	
実践・表現	○			○	○		

授業計画			
回数	テーマ	講義内容・キーワード	講師
1	実習前評価		
2			
3			
4			
5	臨床実習Ⅱ-②		
6	8/19~10/18		
7			
8			
9			
10	実習後評価		
教科書 参考書	1年次から3年次まで使用した教科書・参考書類 その都度必要な文献・論文類		
授業に必要な物			
備考			